

平成21年 岐阜県鉱工業指数(年報) 平成17年基準

1 概況

生産指数 前年比24.7%の低下
 出荷指数 前年比25.7%の低下
 在庫指数 前年比8.5%の低下

平成21年1年間の生産指数は、化学工業が上昇したものの、一般機械工業、輸送機械工業等が低下したため、前年比24.7%の低下となった。また、出荷指数は、一般機械工業、輸送機械工業等が低下したため25.7%の低下となり、在庫指数は、窯業・土石製品工業、化学工業等が低下したため8.5%の低下となった。

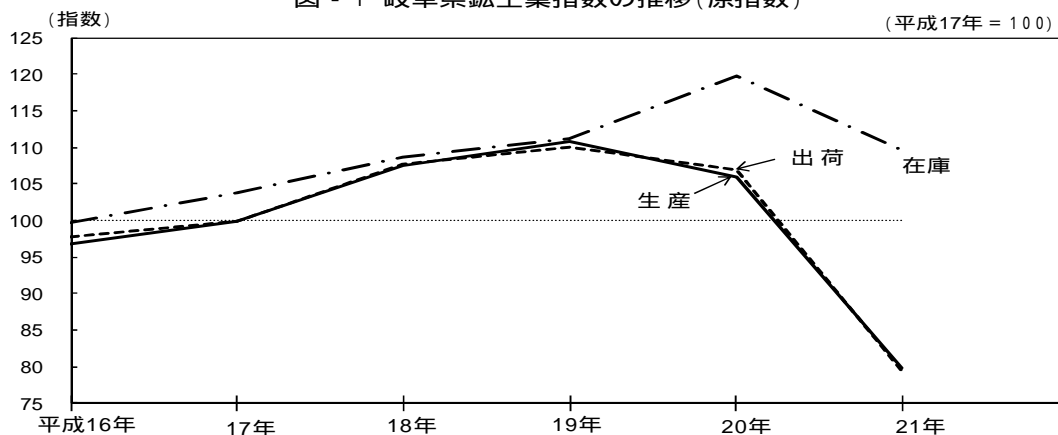
(図-1)

(平成17年=100)

区分	生産		出荷		在庫	
	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)
平成16年	96.8	-	97.7	-	99.8	-
17	100.0	3.3	100.0	2.4	103.8	4.0
18	107.5	7.5	107.7	7.7	108.7	4.7
19	110.8	3.1	110.0	2.1	111.3	2.4
20	106.0	4.3	107.0	2.7	119.9	7.7
21	79.8	24.7	79.5	25.7	109.7	8.5

図-1 岐阜県鉱工業指数の推移(原指数)

(平成17年=100)



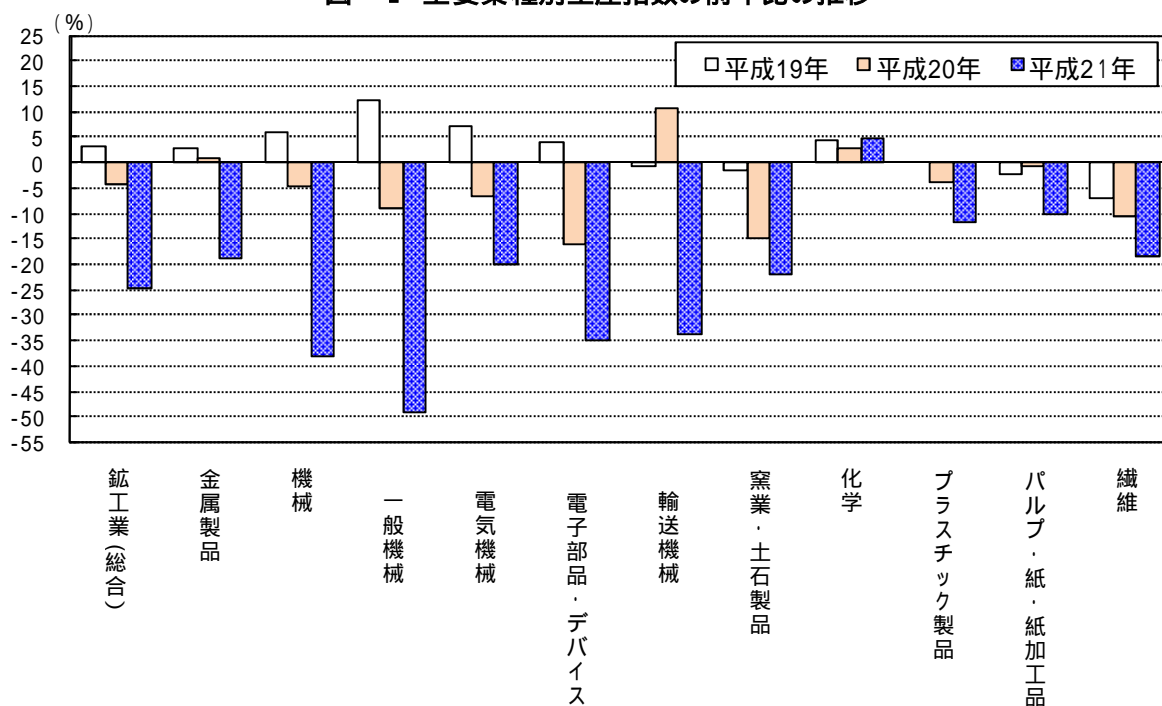
注：年指数の値は、生産及び出荷指数は月指数の平均値、在庫指数は年末値による。

2 主要業種別生産指数の前年比

主要10業種の生産指数を業種別に前年と比べると、上昇したのは、化学工業（前年比4.7%）1業種となった。

一方、低下したのは、一般機械工業（同 49.0%）、電子部品・デバイス工業（同 34.9%）、輸送機械工業（同 33.6%）、窯業・土石製品工業（同 22.1%）、電気機械工業（同 19.9%）、金属製品工業（同 18.7%）、繊維工業（同 18.4%）、プラスチック製品工業（同 11.6%）、パルプ・紙・紙加工品工業（同 10.0%）の9業種となった。（図-2、表-1）

図-2 主要業種別生産指数の前年比の推移



3 全国、中部との生産指数の比較

平成21年の全国における生産指数は、前年比21.9%の低下であった。また、中部においては25.4%の低下であった。

(平成17年=100)

区分	岐阜県		全国		中部	
	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)
平成16年	96.8	-	98.7	-	95.8	-
17	100.0	3.3	100.0	1.3	100.0	4.4
18	107.5	7.5	104.5	4.5	107.7	7.7
19	110.8	3.1	107.4	2.8	111.0	3.1
20	106.0	4.3	103.8	3.4	105.5	5.0
21	79.8	24.7	81.1	21.9	78.7	25.4

「中部」とは、中部経済産業局管内5県（愛知、三重、石川、富山、岐阜）

資料：経済産業省、中部経済産業局

【岐阜県鉱工業指数作成の概要】

- 1 基準時 平成17年
- 2 採用品目 付加価値額ウエイト生産指数 187(188)品目
生産者製品出荷指数 185(186)品目
生産者製品在庫指数 127品目
注：()は電力・ガス事業を加えた数字である。
- 3 ウエイト 業種別ウエイト算出の基礎資料は、製造工業については「平成17年工業統計調査」、鉱業については「本邦鉱業のすう勢調査」から求め、個々の品目ウエイトは上記以外に「経済産業省生産動態統計調査」「岐阜県鉱工業生産動態統計調査」などによっている。
なお、採用品目がない、又は、極端に代表率が低いものについては、業種全体又は財全体にふくらましを行った。
- 4 算式 基準時固定加重算術平均法(ラスパイレス算式)
- 5 分類 分類は、日本標準産業分類に準拠し、これに該当する各品目を所属させた業種分類と、品目の経済的用途に着目した特殊分類の二通りの方法によっている。
- 6 季節調整 センサス局法(X-12-ARIMAの中のX-11デフォルト)
- 7 年間補正 平成21年1月分から平成21年12月分までの実績値を見直して確定値を算出し、原指数を再計算、同時に季節指数を再計算し季節調整済指数を更新した。
- 8 利用上の注意(1) 解説文中で特に注意書きのない場合、生産指数の動向を述べたものである。
(2) グラフに記入された ~ の数字は、第1四半期~第4四半期(暦年ベース)を表している。
(3) 指数の伸び率の記述は、原則として「上昇」、「低下」を用いているが、品目別分類を使用する場合には、混乱を避けるため「増加」、「減少」を用いている。
(4) 在庫指数の年、四半期の数値は、年末、期末値を用いている。

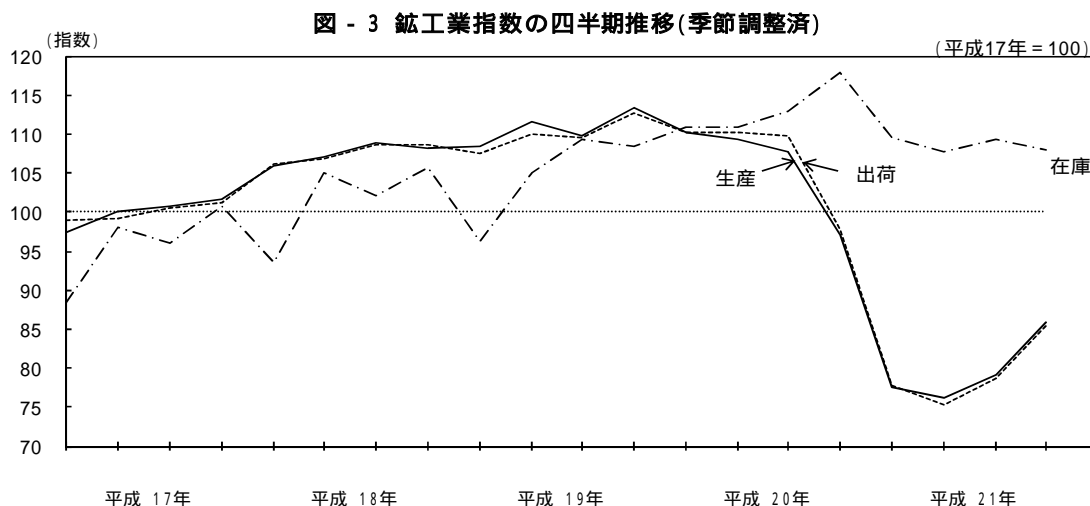
<平成21年 岐阜県鉱工業指数の詳細について>

1 鉱工業指数の四半期推移

平成21年の生産指数を四半期ごとにみると、第1四半期は前期比20.1%の低下、第2四半期は1.8%の低下、第3四半期は3.8%の上昇、第4四半期は8.5%の上昇となり、第2四半期まで大幅に低下し、その後上昇に転じた。

また、出荷指数も生産指数と同様に、第2四半期まで大幅に低下し、その後上昇に転じた。

一方、在庫指数は第2四半期まで低下し、その後横ばい傾向であった。 (図-3、表-2)

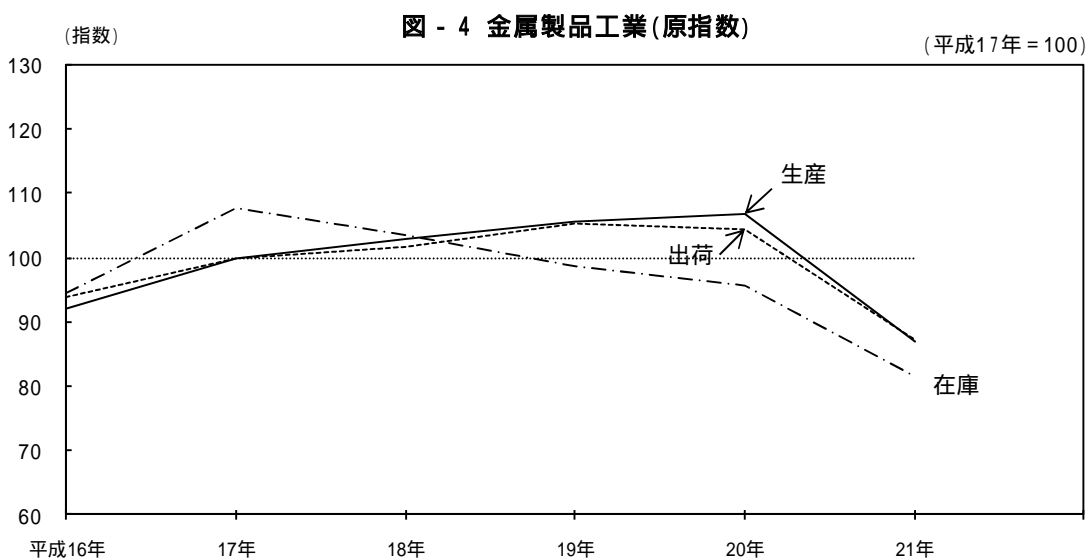


2 主要業種別指数の動向

(1) 金属製品工業

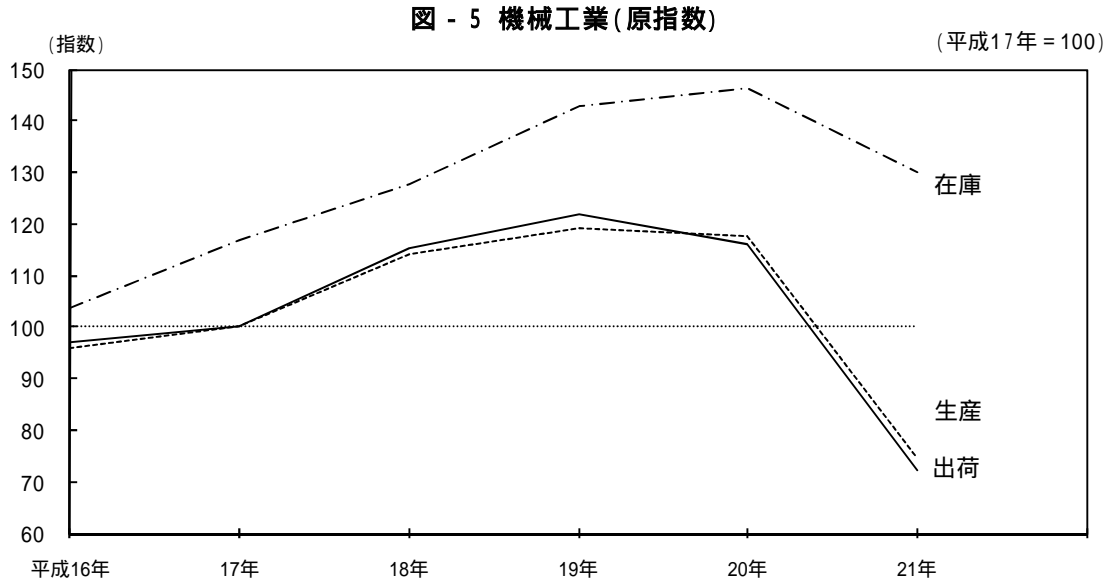
- ・生産指数は、橋りょう等が増加したものの、ボルト・ナット、超硬チップ等が減少したため、前年比18.7%の低下となった。
- ・出荷指数は、ボルト・ナット、ばね等が減少したため、前年比16.6%の低下となった。
- ・在庫指数は、超硬チップ、ばね等が減少したため、前年比14.9%の低下となった。

(図-4、表-1)



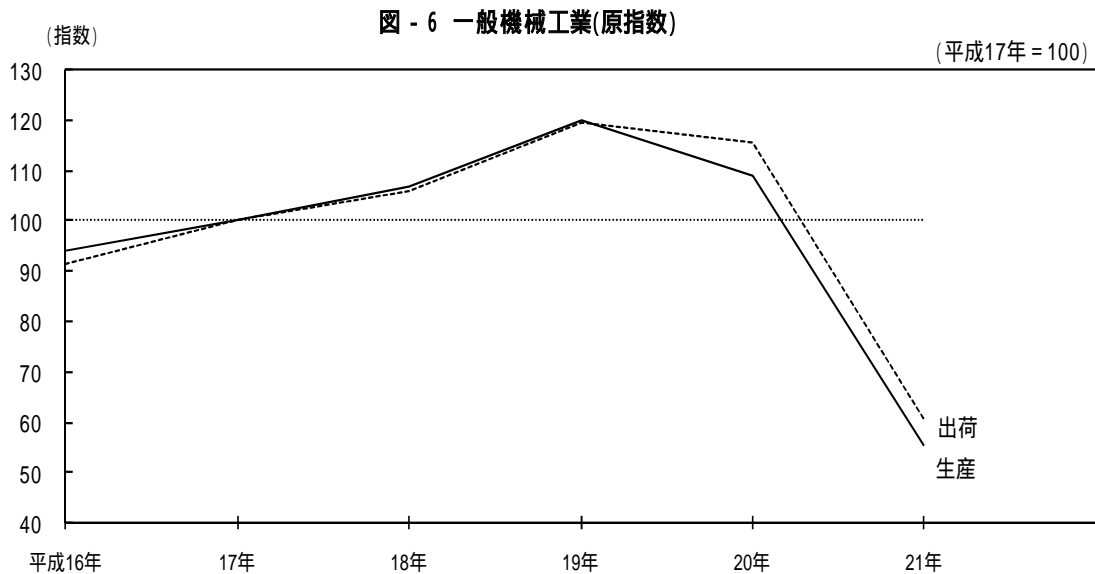
(2) 機械工業

- ・生産指数は、一般機械工業、輸送機械工業等が低下したため、前年比38.0%の低下となった。
 - ・出荷指数は、一般機械工業、輸送機械工業等が低下したため、前年比36.7%の低下となった。
 - ・在庫指数は、前年比11.1%の低下となった。
- (図-5、表-1)



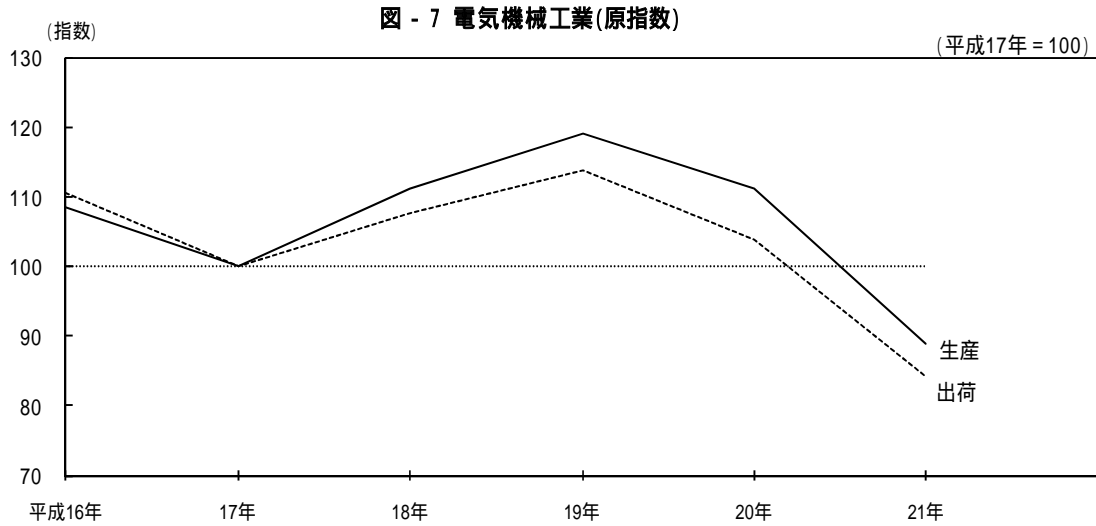
(2) - ア 一般機械工業

- ・生産指数は、油圧機器、旋盤等が減少したため、前年比49.0%の低下となった。
 - ・出荷指数は、超硬工具(超硬チップを除く)、旋盤等が減少したため、前年比47.7%の低下となった。
- (図-6、表-1)



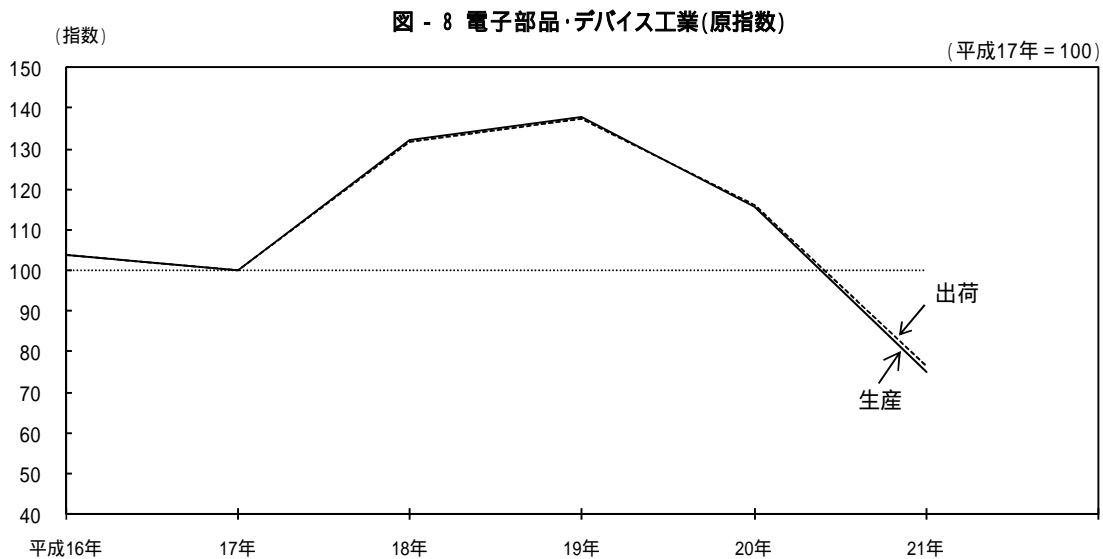
(2) - イ 電気機械工業

- ・生産指数は、非標準三相誘導電動機（70W以上）単相誘導電動機等が減少したため、前年比19.9%の低下となった。
 - ・出荷指数は、単相誘導電動機、開閉制御装置等が減少したため、前年比18.9%の低下となった。
- (図 - 7、表 - 1)



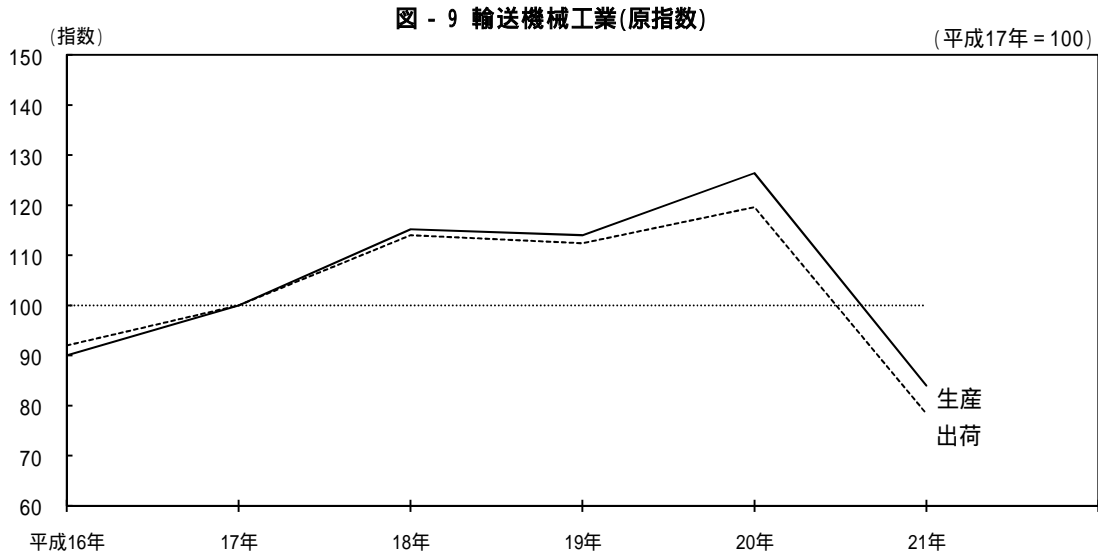
(2) - ウ 電子部品・デバイス工業

- ・生産指数は、電子回路基板、半導体集積回路等が減少したため、前年比34.9%の低下となった。
 - ・出荷指数は、電子回路基板、半導体集積回路等が減少したため、前年比33.9%の低下となった。
- (図 - 8、表 - 1)



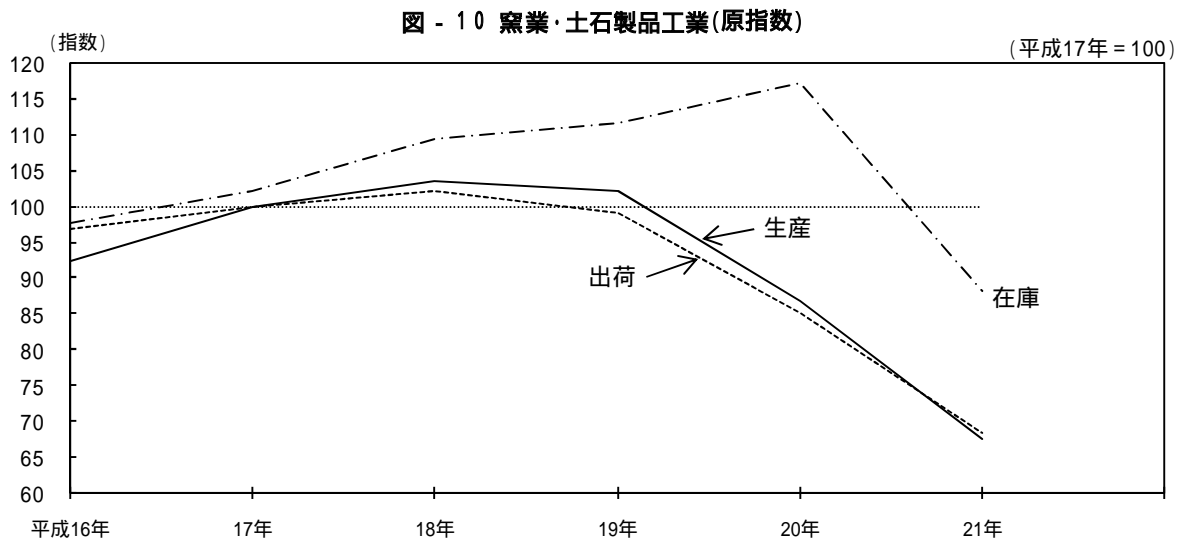
(2) - I 輸送機械工業

- ・生産指数は、乗用車ボデー、懸架制動装置部品（ショックアブソーバ）等が減少したため、前年比33.6%の低下となった。
 - ・出荷指数は、乗用車ボデー、懸架制動装置部品（ショックアブソーバ）等が減少したため、前年比34.3%の低下となった
- (図 - 9、表 - 1)



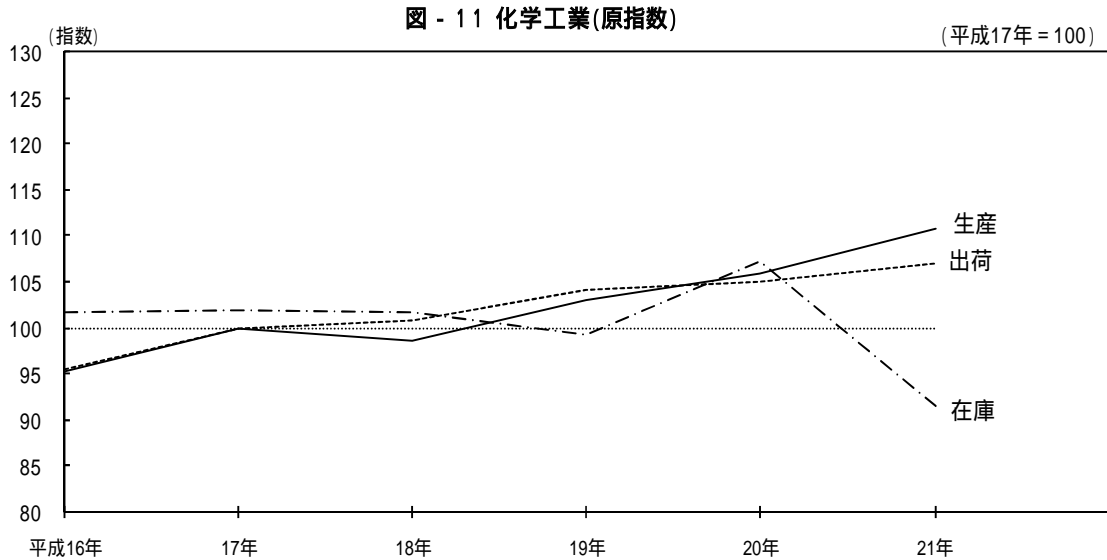
(3) 窯業・土石製品工業

- ・生産指数は、タイル(陶磁器製タイル)、触媒担体・セラミックフィルタ等が減少したため、前年比22.1%の低下となった。
 - ・出荷指数は、生石灰、タイル(陶磁器製タイル)等が減少したため、前年比19.6%の低下となった。
 - ・在庫指数は、タイル(陶磁器製タイル)、陶磁器製台所用食卓用品等が減少したため、前年比24.7%の低下となった。
- (図 - 10、表 - 1)



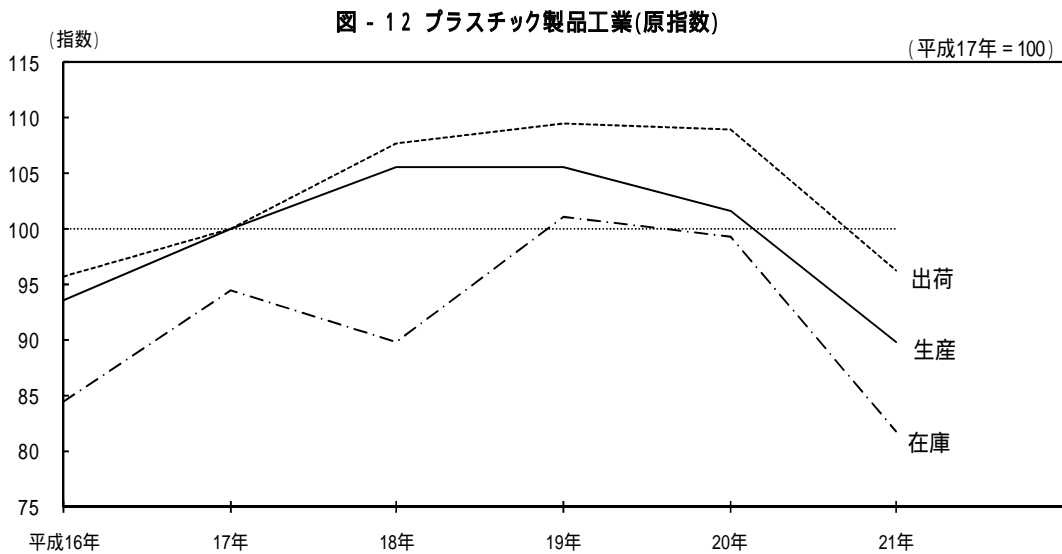
(4) 化学工業

- ・生産指数は、触媒(自動車排気ガス浄化用)、活性炭等が減少したものの、医薬品、無水酢酸が増加したため、前年比4.7%の上昇となった。
 - ・出荷指数は、医薬品、無水酢酸が増加したため、前年比2.0%の上昇となった。
 - ・在庫指数は、活性炭、触媒(自動車排気ガス浄化用)等が減少したため、前年比14.6%の低下となった。
- (図 - 11、表 - 1)



(5) プラスチック製品工業

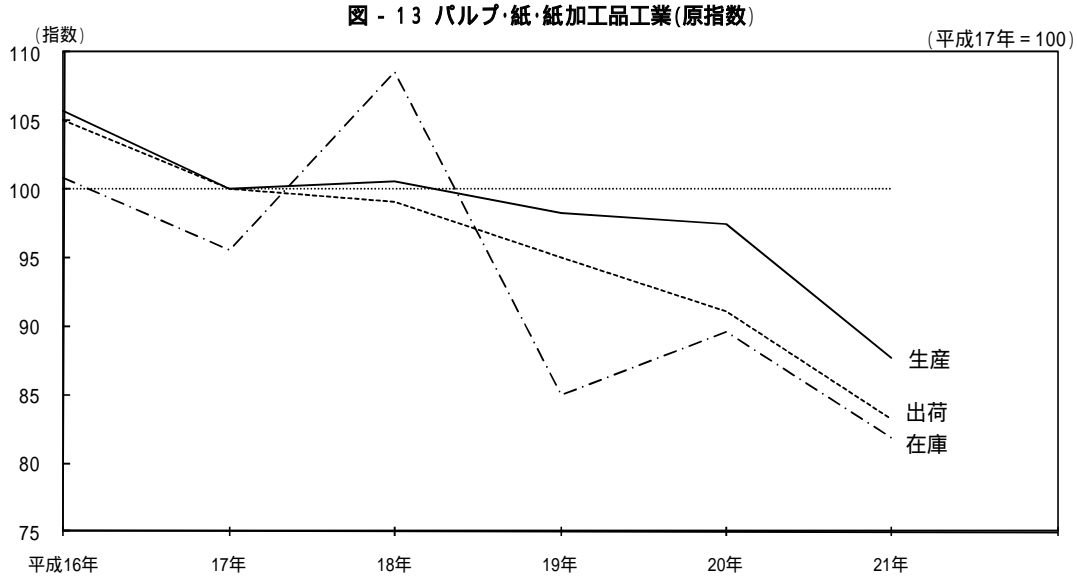
- ・生産指数は、発泡プラスチック製品等が増加したものの、プラスチック製機械器具部品、プラスチック製フィルム等が減少したため、前年比11.6%の低下となった。
 - ・出荷指数は、プラスチック製機械器具部品、ホース(プラスチック製)等が減少したため、前年比11.7%の低下となった。
 - ・在庫指数は、プラスチック製フィルム、プラスチック製継手等が減少したため、前年比17.6%の低下となった。
- (図 - 12、表 - 1)



(6) パルプ・紙・紙加工品工業

- ・生産指数は、情報用紙、段ボール等が減少したため、前年比10.0%の低下となった。
- ・出荷指数は、段ボール、雑種紙等が減少したため、前年比8.7%の低下となった。
- ・在庫指数は、情報用紙、雑種紙等が減少したため、前年比8.7%の低下となった。

(図 - 13、表 - 1)



(7) 繊維工業

- ・生産指数は、毛織物染色整理、ニット生地染色整理等が減少したため、前年比18.4%の低下となった。
- ・出荷指数は、不織布、合成繊維織物染色整理等が減少したため、前年比17.2%の低下となった。
- ・在庫指数は、不織布、毛織物等が減少したため、前年比15.1%の低下となった。

(図 - 14、表 - 1)

